

⑧ 令和2年7月豪雨におけるTEC-FORCEの自治体支援活動

受賞機関 国土交通省、国土交通省 国土技術政策総合研究所、国土交通省 東北地方整備局、国土交通省 関東地方整備局
 国土交通省 北陸地方整備局、国土交通省 中部地方整備局、国土交通省 近畿地方整備局
 国土交通省 中国地方整備局、国土交通省 四国地方整備局、国土交通省 九州地方整備局
 国土交通省 北海道開発局、内閣府 沖縄総合事務局、国立研究開発法人土木研究所

キーワード 広域TEC-FORCE、長期派遣、
 厳しい環境下での自治体支援

全建賞審査委員会の評価ポイント

令和2年7月豪雨におけるTEC-FORCEによる被災状況調査や緊急排水、土砂撤去、避難勧告の発令の助言、道路啓開等の活動。自治体支援活動として長期にわたり職員を派遣し、被災地域の効率的な復旧、被災者の保護に大きく寄与した点や、実践的な連携のしくみづくりが益々高まってきている点が評価された。

1. はじめに

令和2年7月豪雨は、九州付近に停滞した梅雨前線により、7月3日～4日にかけて熊本県南部及び鹿児島県で、6日～8日にかけて九州北部の広い範囲で大雨特別警報や記録的短時間大雨情報が発表されるなどの記録的な大雨となり、九州全域で甚大な被害が発生した。特に球磨川流域では、暖かく湿った空気の流れ込みにより線状降水帯が長時間発生し、堤防の高さを大きく上回る洪水となり、家屋の浸水・倒壊のほか、橋梁流失や土砂崩壊等により幹線道路、生活道路が寸断され孤立集落が発生するなど、住民の生活にも多大な影響を与えた。

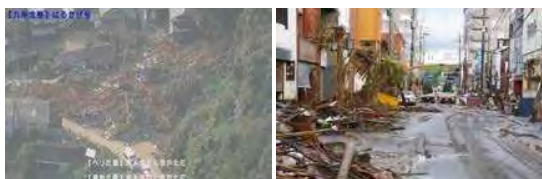
2. 事業の概要

今回の豪雨対応では、7月4日から九州地方整備局のTEC-FORCEに加え、国土交通省、国土技術政策総合研究所、全国の地方整備局等から広域TEC-FORCEが派遣され、被災した自治体（5県10市6町5村）に対して、8月31日までの約2ヶ月間で延べ9,356人・日のTEC-FORCE（リエゾン含む）が被災状況調査、緊急排水、土砂撤去、避難勧告の発令への助言及び孤立解消に向けた道路啓開調査等、様々な支援活動を行った。



人吉市内被災状況

流失した鉄道橋と相良橋



国道3号道路斜面崩壊

人吉市浸水被災状況

3. 事業の成果

被災した自治体に対し、リエゾンや全国からのTEC-FORCEを2ヶ月間の長期にわたり派遣し、河川・砂防・道路の被災状況調査、浸水エリアの緊急排水、孤立を含む集落へのアクセス道路調査・道路啓開、河川内の土砂撤去、建設資材・機械の派遣等を実施し、自治体の首長等から高い評価をいただいた。これらの活動は、被災した地域の復旧作業の加速化、二次災害の防止、被災者の防護にも寄与した。また、活動期間中に国による権限代行が決定した県管理の9河川と国道219号及び球磨川に並行する県道等については、緊急的な対策、緊急車両の通行が確保され、本年4月には、『八代復興事務所』を設置し、被災地の復旧・復興を推進している。



7月13日時点におけるTEC-FORCE派遣状況



河川直轄権限代行

道路直轄権限代行

4. おわりに

令和2年7月豪雨のTEC-FORCE活動は、夏季熱中症対策に加えコロナ感染症拡大防止対策のほか、二次災害への危惧（災害発生後の7月は21日間は雨天）、山間部など通信不感地区という厳しい環境下での活動を余儀なくされた。この様な状況において、現地の隊員や各地整先遣隊を含め隊員全員の安全管理を徹底し、高齢者が多い地域で医療機関の逼迫も懸念されたなか、コロナ感染者も出さずに無事に活動を終えることができた。

最後にTEC-FORCEとして派遣された隊員、応援地整等の皆様に心より感謝申し上げるとともに、今回の活動の振り返りを踏まえ、さらに迅速かつ的確な被災地の支援が図れるように、引き続きTEC-FORCE活動の能力向上に努めて参りたい。